



明石市立魚住東中学校 校長通信



2019年  
4月17日  
(水)  
第1号

## 学校長あいさつ

校長 堂本 学

魚住東中学校の校庭にも、春の暖かな日差しが差し込み心弾ませる好季節となりました。新しい年度を迎え、生徒ひとり一人が、それぞれ入学・進級し、希望に胸を膨らませていることでしょう。ご入学・進級、おめでとうございます。

この度、明石市立魚住東中学校、第15代校長を拝命しました 堂本学（どうもと がつ）でございます。生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様どうぞよろしくお願いいたします。



私は、本校が魚住中学校から分離したばかりの開校2年目に新任教師として着任し、17回生までの16年間お世話になりました。体育教師で剣道部の顧問をしていました。当時は、どの学校でも校内暴力の波が吹き荒れていた時代であり、生徒の問題行動が多発していました。何とか学校を建て直そうと「築こう我らの校風を」を合い言葉に、生徒・教師・地域が一丸となって頑張ったことを思い出します。20年ぶりに東中に帰って来ましたが、制服も体操服も変わり、たいへん生徒が落ち着いているなあと感じました。自分の母校に帰ってきたようで、身の引き締まる思いで一杯です。

今年度、新たに168名の新入生を迎え、全校生503名でスタートしました。新しい年度は、新しい出会いによって始まります。この出会いを大切に、教師と生徒と保護者が「お互いに出会ってよかった」「魚住東中学校でよかった」と思えるような、温かい関係を作っていきたいと思います。

学校教育目標は「**生徒が輝く学校**」です。一人ひとりの生徒を大切に、常に「生徒のためになっているのか」という視点で教育に取り組みたいと考えます。教職員一同一丸となって、「本気と情熱」を持って頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### なきすみの由来

万葉集に「名寸隅の舟瀬」が出てくる。

名寸隅の舟瀬は旧称で、魚住の泊と呼ばれるようになった。

名寸隅（なきすみ）は魚来住（なきすみ）の意 → 魚住（なずみ）

→ 魚住（うおずみ）に転じたとする説がある。